

## 令和7年度八頭町教育委員会 3月定例会 会議録

- 日 時 令和8年3月25日(水) 午後1時30分～午後2時15分
- 場 所 八東庁舎 2階 第1会議室
- 出席委員 小林委員、上島委員、大上委員、谷口委員
- 欠席委員 なし

### 報告

- ・3月議会が終わり、予算も可決された。療育全体の時間も今年度の倍になり、谷本先生のスーパーバイズ事業も実施できる。
- ・上島委員の任期満了に伴い、新委員の西川奈緒美 氏の就任について議会の議決を得た。
- ・新町長就任に伴う臨時議会が5月29日に開催予定のため、5月3日～29日までは教育長不在となる。職務代理者は4月定例教育委員会で決定する。
- ・昨日スクールバスの事故があった。児童下車後、車庫に向かう途中に軽トラと衝突した。乗降口が大破した。新車を買おうと思ってもなかなか車両が入ってこない状況だが、もともと予備車が2台あるため、当面運行には支障はない。
- ・教員の人事が厳しい。小学校はなんとか配置できたが、中学校は常勤講師が2名不足しており特に厳しい。

### 議事

#### 議案第1号 八頭町家庭教育支援チーム員の委嘱について

- ・昨年度と同様。
- ・全委員一致で承認した。

#### 議案第2号 文化財調査員等の日額報酬の変更について

- ・報酬日額は公共工事設計労務単価を基にしており、単価上昇に伴う改正。
- ・全委員一致で承認した。

### その他

- ・八頭町標準学力調査の結果について資料に沿って説明した。  
(委員) 能力的にはいいと思う。小学校高学年から中学校にかけて伸ばし切れていない。それまでの貯金がなくなっているのが見える。能力を十分に発揮できていない部分がある。思いを持っていただけたら。  
(委員) 10歳の壁は八頭町に限らずある。八頭町では何が原因だと思うか。

(指導主事) 九九や割り算は家庭の協力が必要。後でなんとかなるという楽観的な思いも多少あると思う。家庭学習や保護者の協力、学校も先送りにせず、とことんやることも考えていかないとと思う。中1ギャップは、小学校で丁寧にしすぎていることも要因だと思う。中学校に上がったから子どもが上手く伝えられなかったり、そこが弱くなっている。小中9年間で考えることが課題だ。

(委員) 自分で考えてやっていくことが不足している。そこを子どもたちの中で育てていく。先を見ながら考えていかないといけない。

(委員) 保護者の協力について、学校から保護者へどうやって伝えているか。低学年までの勉強なら教えられるが、4年生以降となると学習の方法も自分たちの頃と変わっていて、保護者も授業を受けないとフォローが難しい。どんな協力をすればいいのか。

(指導主事) 特に低学年の頃は、音読や計算などは人に聞いてもらうことで心が豊かになり、計算も身につく。関わりの充実度が低くなってきているのではと思う。学校や学力の実態を伝えていくことも必要だと思う。

(教育長) 少なくとも九九を覚えさせてとか具体的な指示をしてほしいということだと思う。学校は200日/年しか授業はなく、1日のうち1/3時間なので学校だけで完結することはできない。

(委員) 親の働き方も変化しているので、短時間でもいいという伝え方をしてもらえるといい。～しながらでいいと言ってもらえると忙しい中でも5～10分向き合おうとできる。

(委員) 学力を考えるときに、保育所も巻き込んでほしい。保護者は子どもとの関わり方を保育所で教えてもらう。

(委員) 投げかけの教育を。

- ・ 八頭町職員の人事異動について
- ・ 4月10日(金) 町内小学校入学式 開式9:30～  
八頭中学校入学式 開式13:30～
- ・ 4月 2日(木) 学校管理職会の歓送迎会